

校長室だより

国立市立国立第七小学校長 森田弘文

平成28年2月6日

NO.26

国立七小に『こま道場』開設！

エッヘン！わたしはモンタ^{ししやう}師匠だ！

国立七小^{くにたちななしやう}のよい子^このために、
こま道場^{こまどうじやう}を開^{ひら}くことにしたので、
いっしょに遊^{あそ}びましょう。

え！このかっこうがお相撲^{すもう}の
琴奨菊^{ことしょうきく}ににているって？

そのとおり！気合^{きあ}いを入^いれるときに
いつもやるんだよ！

『^こ琴^{こと}パワー』ではなく

『^こモンタ^{もんた}パワー』といいます。



エッヘン！私は国立七小に開設された『こま道場』の主、モンタ師匠と言います。国立てくてくに出てくるモンタ博士とは兄弟でもいとこでもなく、全くの赤の他人であります。

さて、この度、校長先生から国立七小に『こま道場』を開いてくれと頼まれお願いされて来たわけなのです。聞くところによると、国立七小ではお正月遊びというのが毎年あり、いろいろな伝承遊びを楽しむ機会があるとの事。とても素晴らしい意義のある行事で感心しています。今後も末永く続けていってほしいと思いますね。何といたっても昔からある遊びは、手先をあれこれと使うことが多く、脳みそを刺激し頭をよくする利点があります。また、すぐにだれでも簡単にできるわけではなく、何度も失敗したり練習したり、熟練することに意味があり大切な事だと思うのです。その過程において、異学年のお兄ちゃんやお姉ちゃん達に教えてもらうなど、自然とコミュニケーション能力を高めるという素晴らしい側面もあるわけですね。さらにみんなで楽しく遊べばけんかやいじめもなくなるよ。よいこと尽くめの昔遊びは、今後もたくさん経験することがとても大切であり、年に一回ではもったいないと校長先生は思ったのでしょうか。

そんなこんな理由で、M78星雲のモンタ星から小生モンタ師匠が来て直々に伝授してあげようという事になったわけでもあります。いろいろと超多忙の私ではなりますが、国立七小の子供達のために、寸暇を惜しんで秘伝の技の数々を教えてあげましょう。というのは表向きの話であり、本当は子供達と遊ぶのが大好きなのです。詳細は放送で呼びかけるので一緒にこま回しを楽しみましょう。東昇降口前でコマを用意して待ってまーす！